

第3回ケアマネ初任者研修会・つどい 報告書

徳島県介護支援専門員協会運営委員会

日 時：令和4年3月19日（土）13:30～16:20

会 場：Zoomによるオンライン開催

参加者：11名（ほかに委員2名）

テーマ：サービス担当者会議・モニタリング

【内容】

二部に分かれて行い、前半は講義とグループワーク（司会は松本委員長）、後半は参加者からの質問に松本委員長が答える形で実施しました。

【講義内容】

石田委員から、次の点について講義を行いました。

① サービス担当者会議

サービス担当者会議の意義、参加者とのスケジュール調整、サービス担当者会議の流れ、進行役の心得、話し合いの進め方・決め方・終わり方など。

② モニタリング

モニタリングの目的と手法、その担い手、状況の変化と把握、長期目標・短期目標の達成度の検証、満足度とサービスの調整、リスクマネジメント、モニタリング記録など。

【後半の質疑内容】

参加者からの主な質疑は次のようなものでした。

(問) サービス担当者会議のときに、ケアマネジャーだけが話しているようになってしまう。

(答) 一つ一つ内容のすり合わせを項目によって行うことで、項目に関わっている人からの意見や思いを聞くようにしていく。

(問) モニタリングの訪問を本人、家族が拒否されるときの対応のしかた。

(答) 初回の契約のときに、モニタリングの必要性を十分に、本人、家族が理解できるように説明することが大切である。

(問) モニタリングに行っても、妻がずっと話していて、本人からの話がなかなか聞けないケースの場合。

(答) 訪問すると、先にケアマネから「本人と話を先に10分行う」と説明し、「後の時間は妻との時間に考えていること」を先に説明する。妻との時間を十分にとっていることを理解してもらう。

(問) 主治医との連携がとりにくくて困ってしまう。

(答) ケアマネは皆さん同じであり、主治医との連携が得意な人はいません。でも、主治医と連携をとるときは、利用者の疾患に対する基礎知識は必要であり、分からぬときは事前に自分で調べておく必要がある。

(問) 利用者に合ったケアプランが作れていないように思う。

(答) 利用者の主訴を十分に聞き取り、「利用者が何に困っているのか」、生活場面で細かく切り取り、聞き取りを行う。深堀を行うことで、「利用者が何に困っているか」を自覚でき、「どのような支援や何をすることによってどうなりたいか」を理解していく。

The image shows a video conference interface. At the top left is a green logo consisting of stylized leaves or waves. To its right, the text "サービス担当者会議とモニタリング" (Service Provider Meeting and Monitoring) is displayed in bold black font. To the right of the text is a small video frame showing a woman with dark hair, wearing a white face mask, identified as "石田 直子" (Naoko Ishida). Below the title and video frame, there is smaller text: "徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島" and "石田 直子".

サービス担当者会議 講義内容

- ・サービス担当者会議の意義・参加者とスケジュール調整
- ・サービス担当者会議の種類と流れ
- ・進行役の心得
- ・話し合いの進め方・決め方・終わり方